

謹賀新年 新年のご挨拶

剣淵町長 早坂 純夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。また、日頃からの町政に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、降雪が少なく、春は天候が良く例年に比べ暖かく順調にまき付け作業も進みましたが、6月から7月上旬ころまで曇天が続き低温で推移しました。作物も10日前後の遅れが生じ、秋の出来高を危惧したところでした。

幸いにして農作物の収量については、一番心配された水稻が指数100を超え、秋まき小麦はこれまでに

ない収量でした。他の作物についてもおおむね良い状況で、気象変化の多い年でしたが、結果として豊穡の秋となりましたことは喜ばしいかぎりであります。

昨年の国政においては、集团的自衛権行使を可能にする安保関連法案の成立やマイナンバー法の施行、TPP交渉の大筋合意と日本のこれらを左右する法改正などが行われました。

どれもが、国民の行く末を危惧する内容であり英知を絞り世論を国政に届けなければなりません。一方、世界に目を向けるとIS(イスラム)国と称するテロ集団ともいえる人々により世界中の人々が見えない恐怖に脅かされる事態が起きています。経済においては、アベノミクスによる効果が地方経済に表れていないと言っても過言ではありません。国は、地方創生として、地方の活性化が国の活力につながるものとして「まち・ひと・しごと」を創生のキーワードとして、各自治体は地方版総合戦略として5ヶ年計画に基づいた活性化を目指す施策を昨年1月に発表しました。町としても10月30日に人口ビジョンと総合戦略を策定し国へ報告し認証を得たところです。今後は、

計画に基づいて事業展開をしていくことになり、国や道の動向を見極め、行政経営に邁進してまいりたいと思います。

剣淵町の昨年を振り返ると、内外の動きを見極め未来への種をまく一年でした。昨年の主な事業などを考えますと、一つは小学校6年生のネーミングによる児童公園「にこにこ公園」の完成が挙げられます。絵本の館に近いこともあり町内外からのご利用をいただき評価を得ています。元氣な子どもたちの声は、地域の宝であり未来を担うものであります。

次に、交付金事業の一つであるプレミアム商品券は少なからず町内経済活性化に繋がったことと考えますし、ご購入いただきました町民の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。今後とも、町内商工業の活性化を図っていききたいと思えます。



また、昨年は海外との交流関係事業も多くありました。ロシアサハリン州アニワ市からの道庁を通じた交流希望に応えることとし、現地調査のため、9月7日から11日までアニワ市を訪問し、北海道ロシア交流会議に参加しました。案内された現地文化ホールでの懇談は、交流に関して終始意欲的な発言をいただきました。今後どのような交流ができるか、検討が必要です。また、サハリンで10月21日から24日まで開催された道事業の「北海道経済ミッション」に同行したVIVAマルシェやけんぶち産加工研究会などの代表による農産物や加工品、特徴あるジャガイモを使用したうどんなどの展示即売会では、剣淵産農産物などが高い評価を受け、その後「ネギ塩だれドレッシング」がウラジオストックへ、「じやがいも」がサハリンへと剣淵産品の輸出として生産者から直接海を渡りました。このことは剣淵産農産物などが海外マーケットに進出できる可能性を実証したものと考えます。まだまだ解決しなければならぬ課題がありますので行政としてできる事を支援していきたく考えます。

剣淵町を訪問された海外からの主な方々は、タイ・フィリピン・インドネシア・ベトナムとペルーの5か国におよびます。ほかに例年実施されている国際交流の方々や国際ボランティアの皆さんも訪問いただきました。マスコミ関係者や観光関係者、農業法人、学生やベンチャー企業代表などです。中でも、ペルー国については、すでに姉妹都市であるパルカマヨ区を含む周辺自治区との相互交流を行うべく9月28日再調印をさせていただきます。

昨年も、剣淵を代表する団体の活躍が評価されました、VIVAマルシェが昨年に続きさらなる表彰を受けられ、北海道開発局主催「わが村は美しく―北海道」で大賞の受賞となりました。一昨年は優秀賞としてノミネートされていたものです。また、農林水産省主催の「ディスカバ―農山漁村(むら)の宝」では農山業村活性化の優良事例として全国27団体が選定され、内一つとして選定されました。2部門で表彰を受ける快挙を達成されたことは、未来を担う農業青年の活動として頼もしい限りであり、敬意を表しお祝いを申し上げまするとともに今後の展開が期待されるものであります。

じんじんは、昨年で公開上映開始から3年を迎えました。全国上映はトータルで600箇所25万人を数えます。また、じんじんの次作品が神奈川県秦野市^{はだの}で製作される予定であり、主人公「銀三郎」のふるさとが剣淵という設定で再び剣淵ロケが一部実施される方向で検討されているそうです。ますます交流人口が増え経済効果につながることを期待するものであります。

それぞれの場面での町民の皆様のご活躍や躍進の一助となるべく行政は推進していかねばならないとも考えます。

平成28年度の事業予算につきましては、現在予算編成中のため概要については懇談会などでお知らせしたく存じます。

町民が主役の町づくりとは、皆様方との真の対話と行政に寄せられる信頼で成り立つと常々考えています。そこに活力と豊かな暮らしがあるわけであり、町内においては、地域の特色を生かした6次産業振興、観光誘致、交流事業、特産品開発や商品加工など、活発な活動がなされています。地方自治体を取り巻く行財政は、極めて厳しく不透明な状況ですが、健全財政の堅持に努め、財政規

模に見合う計画を時限と全体を見据えて一歩一歩選択推進する考えです。地方創生に呼応する総合戦略事業も手掛けていかなければなりません。協働のまちづくりは、町民の皆様のご理解とご協力が無ければ達成できないことと考えます。今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

剣淵町議会議長

大河 邦晃



町民の皆様、明けましておめでとうございます。皆様方には2016年の輝かしい新春を、元氣でお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日頃より町政の推進に特段のご理解とご協力をいただき、私からも厚く感謝とお礼を申し上げます。次第でございます。

さて、昨年の我が町を振り返りますと、作況はおおむね平年並みか平年を上回る好結果な年だったと思わ

れます。天候不順を心配した時期もありましたが、関係機関の適切な指導と、農家の皆様の不断の努力が報われた年であり、今年の豊作も大きく期待する所です。しかしながらその一方で農業者の最大の関心事であるTPPの協定が、昨年10月に関係12カ国により大筋合意にいたってしまいました。先の総選挙で重要5品目は断固守るといふ国民との約束や、国会決議も反故されたことは誠に遺憾であり、またもや裏切られたという気持ちを強く抱いています。

議会としても、農産物の長期的な価格下落の可能性を見越し、今までも一貫してTPPには反対の立場を貫いて参りました。今後においても政府は国民に対し、合意内容を正確かつ丁寧に説明することを求めていくと共に、意欲ある若い農業者が希望を持って経営に取り組める再生産可能なための政策を、関係団体と一致団結して求めて参ります。

行政におきましては、昨年9月にペルー共和国タルマ市から、市長をはじめ4人の行政区長が来町され、エラルド・エスカラ駐在大使も出席の中、姉妹都市締結の調印式を無事挙行しました。また同月には、北海道・ロシア極東交流事業実行委員会

が行っている交流事業に剣淵町も初めて参加したところですが、一昨年夏に、青少年北海道・サハリン「体験、友情」の船事業で、サハリン州アニワ市から2人の子どもたちが町内にホームステイをした経緯があり、道の積極的な進めにより実現しました。町からは早坂町長、議会からは高橋一博議員が同行しています。訪露中、アニワ市を表敬訪問し、アニワ市長との会談で今後の交流のあり方について積極的な意見の交換が出来ました。今後は経済、文化、スポーツなどの交流が進んで行くものと思われまます。

また、昨年は東南アジア各地から多くの外国人が来町しています。これらは、北海道が推進する、道産品輸出拡大や、外国人客誘致強化の事業の一環として、上川総合振興局の推進する「かみかわ『ジャガイモ加工品&絵本文化発信』プロジェクト」として実施してきた成果であり、今後においても剣淵町を訪れる外国人は増えることが予想されます。しかしながら、その受け入れ態勢はまったく整っておらず、町民の皆様方の理解を得ながら整えていかなければならないと思っております。

さらに、昨年も明るい話題がたく

さんありました。VIVAマルシェが昨年の地産地消費良活動表彰に続き、農林水産省が実施している農山漁村活性化の優良事例を選定する「デイスカバー農山漁村（むら）の宝」選定証に輝き、10月末に首相官邸で行われた授賞式に高橋代表らが出席しました。

式には安倍総理、森山農林水産大臣、石破地方創生担当大臣も出席され、短い時間ではありましたが親しく歓談も出来たと喜んでいました。メンバーはもちろんの事、町内の若者たちにも大きな励みになったものと思えます。また、北海道開発局が行っています「わが村は美しく北海道」第7回コンクールにおいて同団体が大賞に、福有会が奨励賞に輝きました。福有会は町の特産研究グループの草分け的存在であり、今までも数々の賞を受賞されており、長年のご努力に深く敬意を表します。町内にはその他にも数多くの団体、グループが活動、活躍しており、地元農産物を使った加工、研究開発も盛んに行われ、すでに商品化されたものもたくさんあり、町の活性化に大きく貢献しています。

また、NPO絵本の里けんぶち街づくり観光が毎年行っている大晦日

の年越しカウントダウンには、豪華商品の当たる福餅まきや花火大会が行われ、400名近い人たちが集まる一大イベントになっています。町の発展は行政主導ではなく、民間の活力が最も重要であり、行政と議会も一体となり、これからの活動を支援して行く覚悟です。依然と続く厳しい財政の中、恵まれた自然と、緑豊かな農地と、先人が築いてこられた調和のとれた素晴らしい郷土をさらに発展させて行かなければならない使命感の中、全力を傾ける決意です。町民の皆様により一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本年も豊穡の年であることを心から願い、新しく迎えた年が希望に満ちた年でありませうようご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。



緊急通報は110番、相談電話は「#9110」に！

事件や事故が発生した場合や不審者を見かけたときは、あわてず『110番』してください。

各種の相談や、警察に対するご意見・ご要望は『#9110』をご利用ください。

◇お問い合わせ先

士別警察署剣淵駐在所 電話0165-34-2131

